

2023年度 日本メンタライゼーション研究会第2回学術集会  
一般演題の先行募集のご案内

第2回学術集会の一般演題を募集いたします。ふるってご応募ください。なお、学術集会への参加はメンタライゼーション研究会会員に限定されておりますので、一般演題への応募も会員のみとなります。応募をお考えでまだ会員になっておられない方は、入会申請を先にしていただき会員に承認された後に応募ください。

大会日時 2023年12月2日(土)及び3日(日)(全てオンライン)  
一般演題の発表時間は上記二日のいずれかになります。

#### 一般演題の趣旨と形式

趣旨：一般演題は、単独で特定のテーマについて発表するものです。例えば、メンタライジングを指向した心理療法の実践、多様な臨床現場でのメンタライジングに基づく心理的援助の取り組み、あるいはメンタライジング能力のアセスメントの実証的研究など、メンタライジングに基づく臨床の実際に依拠しつつ、その理解を深めるような試みを奨励します。

審査：演題の採否は審査を経て決定します。一つの主張をもち、研究発表として方法や考察が適切になされているか、また特に症例においては倫理面に配慮して抄録が作成されているかが審査のポイントとなります。

時間枠：発表20分、質疑応答20分(いくつかの発表をまとめて一つの会を構成します)

形式：オンライン形式で行います。画面で共有する資料は各自でご用意ください。

#### 申し込み方法

- ①一般演題申し込み様式に必要事項を記入してください。
- ②抄録を手引きに沿って作成してください(審査後、そのまま印刷され抄録集に掲載されます)
- ③送付先：日本メンタライゼーション研究会運営委員会(mentalization.office@gmail.com)宛てに、上記のファイルをメールに添付してご提出ください。  
メールのタイトルは、「【一般演題申し込み】〇〇〇〇(氏名)」のようにご記入ください。  
なお、締め切りは9月29日です。

2023年8月1日  
日本メンタライゼーション研究会運営委員会